

2017年5月2日、パリ

中欧及び東欧地域で労働力不足：家計には追い風だが地元企業には脅威

中央および東ヨーロッパの労働市場の発展は家計には有益であった。賃金の上昇と低インフレに消費者信頼感の改善が加わって、失業率の低下と個人消費の伸びにつながっている。しかし、労働市場の好転は、特に有能な人材の雇用に企業が苦勞するほどだ。人材不足と、それによる人件費の高騰は、企業にとっては頭の痛い問題だ。

中央および東ヨーロッパの労働市況は改善を続けている。失業率は史上最低の水準にまで低下し、ほとんどの中東欧諸国経済では、失業率の数字はEUの平均よりも低い。これらの数字は、特に過去2年間で急速に改善している。高騰する賃金、低インフレ、そして消費者信頼感の改善により、家計消費が経済拡大のけん引役となっている。中東欧諸国のほとんどで、近年は賃金の上昇傾向が続いている。2010年以降、総賃金はルーマニアとブルガリアで30%以上、ハンガリーとポーランドでも20%以上上昇している。

労働力不足の原因としては、賃上げ交渉力の強化、低出産率、そして海外移住などが挙げられる。

それでもなお、各世帯と地域全体の経済活動はこれらの発展で潤っている一方、企業は賃上げ交渉力の強化に直面しており、より高い補償費用を受け入れざるを得ない状況に置かれている。国内外の旺盛な需要、低い出産率、そして西ヨーロッパへの海外移住などがすべて、労働力不足の原因となっている。これが事業拡大の障害となっていると報告している企業の数が増えている。

より高額な賃金を支払っている企業でさえ、依然として、従業員を雇用するのに困難に直面している。求人は、特にチェコ共和国とハンガリーで危急の問題となっている。賃金上昇は、現在は労働生産性の上昇分を上回っている。しかし幸いなことに、地方の人件費は依然として、中東欧諸国と比べて平均で3分の1以下である。

この、地理的・文化的近接性と合わせて労働単価の面で地方が置かれている有利な状況は、今後も引き続きビジネス上の競争優位性をもたらすはずである。それでもなお、最も若く熟練した労働者の海外への移住が続くようなら、これらの恩恵は中期的には減じる可能性がある。

講じられる解決策としていくつか考えられる

企業は引き続き、特に有能な人材を中心に労働力不足に見舞われるだろう。最近の調査によれば、中東欧諸国で求人がもっとも困難となるのは運転手や技術者といった職業と見られる。

労働力不足は、海外移住者を母国に呼び戻し、さらに海外からの移民を受け入れることでいくらか解消できるかもしれない。しかしこれには、ガバナンスの向上と移民受け入れに対する消極性の問題に対処することが必要になる。海外に移住したうちの十分な数の人々が母国に戻ってくることは考えにくい。ブレジット（またはその他類似の将来のシナリオ）の実

害を被る者にとっては、所得の潜在力の大きな差から、他の西ヨーロッパ諸国で職を捜す動機が増すだろう。

さらに、少数民族、女性（西ヨーロッパと比べて、女性の社会進出率は低く、スウェーデンの79%、ドイツの72%、オーストリアの71%と比べて、ポーランドで61%、ハンガリーで59%、ルーマニアで57%となっている）、そして高齢者による労働参加を促進することと、職業訓練と高等教育プログラムを強化することも、状況を改善する助けとなるだろう。

連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2015年には、4,200名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4900万ユーロの連結売上高を計上しました。100か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは50,000を超える企業の200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、660名のアンダーライターと信用調査のエキスパートの専門知識に基づいた、160か国に及ぶコントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。

www.coface.com

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。

ISINコード : FR0010667147 / ティッカーシンボル : COFA

